



河小だより

四日市市立河原田小学校

第 21 号 2019.3.25

1 年間にわたるご支援とご協力、ありがとうございました

本日、平成30年度の修了式を行いました。この1年間、子どもたちがお互いに学び合える学校生活を保障するために、教職員一丸となって子どもたちに寄り添ってきました。十分に子どもたちに寄り添えないこともありましたが、本日、全員が現学年を修了したことを嬉しく思います。

来年度も、今年度同様、河原田小学校の教育活動へのご理解とご支援、よろしく申し上げます。

★平成30年度（第110回）卒業証書授与式★

3月20日（水）に、49名の卒業生が、6年間の思い出を胸に、河原田小学校を巣立ちました。

卒業証書授与のとき、担任の呼名に「はい」と大きな返事をし、私の「おめでとう」の声にも、笑顔で「ありがとうございます」と答えてくれました。子どもたちの姿は、小学校の扉を開けて、中学校という新しい世界に飛び立つにふさわしい姿でした。一人ひとりの子どもたちが、それぞれの心情で、この瞬間を迎えたと思います。そこには、この6年間の様々な日々が次から次へと思い出されていたことでしょう。私は卒業生に式辞で次のように話しました。

私と君たちとの初めての出会いは、君たちが5年生の3学期、社会科の授業「誰が悪いの」で、私があなたたちと向き合い、授業に取り組んだ時です。あなたたちは、松本サリン事件での新聞社の間違った記事が河野義行さんとその家族をととても苦しめたことに怒りを持ち、他人から聞いた情報だけを信じてはいけないことを、グループで話しあい、みんなで聴き合う中で、間違った情報を、確かめもせず、人に伝えることが罪のない人の人生を狂わせることの怖さを実感しました。次の出会いは、6年生の1学期の図工科の写生の授業「6年間通った思い出の校舎」に取り組んだ時です。写生は長い時間、校舎と向き合い、我慢強く、スケッチしたり、色をぬったりしなければなりません。厳しく注意したこともありました。それでも、あなたたちは、集中し、黙々と、自分のペースで描き切りました。その姿は素晴らしい姿でした。そして、2学期には理科の授業「空気の重さと真空」にも取り組みました。真空になったフラスコにぴったりと吸い込まれた風船やフラスコの中に噴水のように入っていく水の様子を見ながら、科学の不思議さを議論しました。あなたたちの授業に向かう姿、そして、問題を解決するために、仲間と聴き合い、話し合う姿、みんなに自分の考えを主張する姿、それをしっかりと聴こうとする姿は、とても素敵な姿でした。多くの学校、多くのクラス、多くの子どもたちと理科を楽しんできた私ですが、その中でも一番の姿でした。

私がこの話をするのは、苦しいときにこそ、河原田小学校での授業のことを思い出してほしいからです。河原田小学校では、「子どもたちが学び合える授業」と称して、互いに知恵を出し合い、解決していくことを大切にしながら進めてきました。仲間のために、相手の気持ちに寄り添いながら、分からないことを共に解決していくことを大切にしながら進めてきました。それは、互いに「歩み寄り、共に学んでいこう」とする姿でした。君たちはこれから新しい世界に踏み出すわけですが、この「歩み寄り、学んでいこう」とする力は、とても大切な力なのだと思います。改めて伝えたいと思います。「歩み寄り、学び合おう」とする人は一人ぼっちにはなりません。どのような困難があっても、寄り添ってくれる人がいることは、大きな勇気と希望に結びつきます。そこに真の絆が生まれます。河原田小学校で培った学びのスタイルを生かし、仲間とともに助け合い、未来を切り開いていってほしいと強く願い、私の式辞といたします。

卒業生49名の輝く未来を願っています。



★平成 30 年度 離任及び退任する職員のお知らせ★

本日、離任・退任式を行いました。本年度をもって、本校を離れる職員をお知らせします。なお、最終の異動及び詳細については、来年度 4 月の学校だより「職員の離・退任及び着任のお知らせ」にてお伝えします。お世話になったことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

五十棲孝子 林智美 大熊雅教 前田光彦 矢羽田彩乃 石川加代子

★お願いとお知らせ★

- 休業中に宿題等で質問やわからないところがある場合には、学校に来てください。担任が出張等でない場合でも、学校にいる教員が対応します。時間は 8 時 30 分から 17 時までです。なお、土日は週休日で学校は閉めます。
- 春季休業を前に学級で次のことを全校児童に指導しました。
 - ① 四日市市内の子どもたちの交通事故の原因で最も多いのは「飛び出し」です。道路横断、自転車運転時の基本学習は「止まる・見る・確かめる」です。家でもこの点を改めて話していただきたいと思います。また、「自転車乗車中はヘルメットをかぶる」よう子どもたちに話してください。自転車乗車中に事故や転倒によってケガあるいは死亡したときのダメージの「6割」が頭部、ということが分かっています。子どもは大人に比べて頭が重く、転倒したときに頭にケガをしやすい傾向があります。ヘルメットの着用は努力義務ですが、子どもの命を守る、という観点からも、ヘルメットを着用するよう子どもたちに話してください
 - ② 物や金銭の貸し借り、おごったりおごられたりすることはしない。
 - ③ 子どもだけで校区外へ行かない。外出するときは、目的・行先・友だち・帰宅時刻を必ず伝えるよう話してください。

よろしく申し上げます。